第6次
「自衛官・家族アンケート」報告

実施期間：2023年3月22日～5月8日
実施場所：横須賀・大和・綾瀬

横須賀のなかに、横浜市の一部（金沢区六浦東）が含まれる

2023.6.9

自衛官の人権問題を考える会

横須賀市本町3-14山本ビル2階　FAX046-825-0157
非核市民宣言運動・ヨコスカ気付

アンケートのお願い

自衛官の人権問題を考える会
2023.3.19

憲法9条が
自衛官の
いのちを
守っていると
考えたことが
ありますか。

自衛官・ご家族の皆様へ

突然このような形で「手紙」を差し上げる失礼をお許しください。私たちは「自衛官の人権問題を考える会」という、神奈川県内で活動する市民団体です。

昨年末、政府は「安保3文書」（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）の改定を閣議決定しました。

「敵のミサイル発射拠点などを破壊する「反撃能力」保有を明記し、戦後の安保政策を転換」（読売、22.12.17）。「相手国内を攻撃する能力を保有してこなかった従来の安保政策を大きく転換」（毎日、22.12.17）。「専守防衛に徹し、軍事大国にはならないとした戦後日本の防衛政策は、大きく転換」（朝日、22.12.17）。

専守防衛から他国への「反撃能力」の保有。各紙は「防衛政策の転換」を大きく報じました。

●

閣議決定を伝える全国紙3紙と地方紙2紙を読みました。現役自衛官の声を取り上げたのはわずか1紙。閣議決定に至るまでに、与党協議でも、その様子を伝える報道でも、最大の当事者である自衛官の声を聞こうとする努力は見えませんでした。戦地へ行かされるかもしれない、自衛官・家族の意向を無視したまま「3文書」が閣議決定された、私たちはそのように思います。

私たちはこれまで、「ホットライン」や「アンケートのお願い」で、直接皆さんの声を聞いてきました。自衛官であることに誇りを持とうとする皆さんの真剣な問いかけに、私たちも必死で応えようとしてきました。私たちが、皆さんの代弁者になれるとは思いません。でも、皆さんの声を受け止め、それを日本社会、とりわけ政治家の方々へ伝えることは、できると思います。

アンケート用紙を同封しました。答えられる範囲で結構です。ぜひ皆さんのご意見をお聞かせください。

●ご回答は返信用封筒に入れて投函してください。切手は不要です。
●アンケート用紙は2枚あります、ご本人、ご家族、それぞれご記入ください。
●お名前はお聞きしません。通信の秘密は守ります。
●ご相談ごとがある場合も、その旨をお書き下さい。誠実に対応いたします。

自衛官の人権問題を考える会
横須賀市本町3-14山本ビル2階　FAX046-825-0157

アンケート実施要項

●アンケート配布期間：2023.3.22～3.29
●配布場所：横須賀、大和、綾瀬
●アンケート配布数：2040通
●返信数：5月8日現在13通の返信

●アンケートの配布はポスティング業者に依頼した。
●3月22日から29日の間に、「アンケートのお願い」、「アンケート用紙」、「返信封筒」を入れた封筒が、対象官舎の集合ポストに投函された。
●配布総数は2040通。5月8日現在の返信は13通。

13通のうち、9通は自衛官ご本人　（—は未記入）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
所属	海自	陸自	海自	海自	海自	海自	—	—	海自
年代	40代	30代	30代	20代	40代	50代	20代	30代	30代
男女	—	男	男	男	男	男	女	男	男

3通はご家族。残りの1通は「アンケートのお願い」が封入されているだけの返信。

	1
所属	—
年代	—
男女	—

2
—
20代
女

3
—
30代
—

（参考資料）これまでの配布数と返信数

	実施日	配布数	総返信数	有効返信数	有効返信率
第1次	2003.7	2500	21	**12**	0.0048（0.48%）
第2次	2003.11	2250	15	**7**	0.0031（0.30%）
第3次	2004.2	434	1	**1**	0.0023（0.23%）
第4次	2015.8	1334	22	**22**	0.0165（1.65%）
第5次	2020.3	2001	10	**10**	0.0050（0.50%）
第6次	2023.3	2040	13	**12**	0.0059（0.59%）

今回の返信は前回2020年より多く、過去2番目に多い返信率だった。

アンケート記入用紙　ご本人用

（該当する番号及び項目を〇で囲んでください）

1）あなたの自衛隊入隊動機はなんですか

1・国土防衛　2・国民を守る　3・やりがいを求めて
4・国際協力　5・災害救援
6・その他（

2）昨年12月「安保3文書」の改定が閣議決定され、反撃能力の保有等、自衛隊の任務が拡大されました。
改定協議の過程で、自衛官の気持ちや現場の事情が考慮されたと思いますか。

1・思う　2・どちらかと言えば思う　3・どちらかといえば思わない　4・思わない
5・どちらともいえない

（ご意見があればご記入ください）

3）閣議決定された「安保3文書」以後、これからの業務にどのような変化があると思いますか

（自由記入）

4）多くの報道は、「3文書」によって自衛隊の「専守防衛」が形骸化すると伝えています。
あなたはどう思いますか。

1・思う　2・どちらかと言えば思う　3・どちらかといえば思わない　4・思わない
5・どちらともいえない

（ご意見があればご記入ください）

5）自衛隊が「反撃能力」（敵基地攻撃能力）をもつことについて、どう思いますか。

1・不安がある　2・どちらかと言えば不安がある　3・どちらかといえば不安はない
4・不安はない　5・どちらともいえない

（ご意見があればご記入ください）

6）このアンケートに関してご意見があれば、ご自由にご記入ください

※ご家族の方は問2、問3、問4、問5、問6にご回答ください。

陸　海　空　他	10代　20代　30代　40代　50代　60代以上	男　女	ご家族（　　）

ご協力ありがとうございます

「自衛官・家族アンケート」返信 2023.5.8現在

①：横須賀地区投函分
❺：県央地区投函分

①3.27着　本人・海・40代

1）……2・国民を守る

2）……1・思う

専守防衛の限界は現場内でもつよく感じていたため、ようやく安保3文書のような根拠・ガイダンスが発出されて安心した。

3）……我々の行動の幅が広がり活動しやすくなる。

4）……3・どちらかといえば思わない

そもそも、何を基準に「専守」というのかが不明瞭であることから、専守防衛という考え自体ががかいしている。

5）……4・不安はない

「不安がある」と問われていることが大いに疑問を感じる。

6）……我々の人権を考えていただけることはありがたいが。我々の活動・業務に水をさす行為は避けていただきたい。

②3.27着　家族

1）……6・その他（配偶者（自衛官）の給料が安定しているから）

2）……1・思う

3）……よくわからない

4）……3・思わない

5）……4・不安はない

6）……都合の良いアンケート結果へ捏造されないことを願ってやみません。

③3.27着　本人・陸・30代・男

1）……6・父親のすすめ

2）……4・思わない

現場はそのような（安保改定等）事は一切考えないと思います。上（内閣、省、各幕僚監部）が決めた事に対して「ふ～ん」いう感じです。

3）……ないと思います。現場はそのような事を考えないと思います。

4）……5・どちらともいえない

5）……4・不安はない

不安はないが、そもそも人材が足りていない。

6）……能力を持つことに対しては文句はありません。しかし無駄に1佐や将のポストが増えている。真に大変なのは、現場で武器等を扱う「曹士」であるのに、この人材がまったく足りていない。営内の数を増やしたり部屋の冷房を整備したりする事が先決かと。無駄な幹部のポストばかり増やさず、人材の確保に力を入れてほしい。

④3.31着　本人・海・30代・男

1）……6・その他（防大に合格したから）

2）……2・どちらかといえば思う

3)……より実践的な訓練が増加すると思われる。
4)……4・思わない
5)……3・どちらかといえば不安はない
6)……

❺4.3着　本人・海・20代・男
1)……3・やりがい
2)……5・どちらともいえない
3)……
4)……5・どちらともいえない
5)……5・どちらともいえない
6)……

❻4.3着　家族・20代・妻
1)……夫が自衛官だった。
2)……3・どちらかというと思わない
ニュースを見ていると政治家だけで決められたように感じた。
3)……わからない。
4)……5・どちらともいえない
5)……4・不安はない
今の世界の状況を見れば安心のため
6)……

⑦4.5着　本人・海・40代・男
1)……2・国民を守る
2)……4・思わない
3)……業務量の増加
4)……5・どちらともいえない
5)……5・どちらともいえない
6)……

⑧4.5着　本人・海・50代・男
1)……3・やりがい
2)……2・どちらかといえば思う
3)……現場の人間は特に変わらないと思う
4)……5・どちらともいえない
5)……3・どちらかといえば不安はない
6)……

❾4.5着　本人・20代・女
1)……2・国民を守る
2)……4・思わない

3)……
4)……5・どちらともいえない
5)……5・どちらともいえない
6)……

⑩4.6着　「お願い」のペーパーのみが返信された。

⑪4.10着　本人・30代・男
1)……1.国土防衛　2・国民を守る　6・その他（国益の保護）
2)……1・思う
軍事力は、政治の一手段なので、国家が決めた事には従うのが当たり前で、現場の声は十分に考慮されている。
3)……任務の拡大
4)……4・思わない
他方、「専守防衛」の妥当性も現在の情勢を踏まえて、検討して欲しい
5)……4・不安はない
専守防衛の一環なので当然のこと
6)……

⑫4.10着　家族・30代
1)……
2)……1・思う
大変、良いことだと思います。
3)……“戦って勝つ”ことができるようになると信じています。
4)……4・思わない。
多くの報道とは、具体的にどこの報道でしょうか。私は形骸化するといった幼稚な意見　は聞いたことがないです。
5)……4・不安はない
持って当然の能力ですし、これは、専守防衛から外れるものではありません。
6)……

⑬5.8着　本人・海・30代・男
1)……2・国民を守る
2)……4・思わない
現場は人手が足らず、やる気、能力のある隊員に業務が集中している。現場の業務遂行はギリギリであると感じているため、実情を考えた政策・対策をしてもらいたい。
3)……当面は変化はないと思うが、長期的に業務量は増加すると思う。
4)……4・思わない。
5)……2・どちらかというと不安はある
十分な人数がおらず、一部に業務が集中する自衛隊で、「反撃能力」を十分に運用できるのか。
6)……

2023アンケート集計用紙とコメント

◉返信　自衛官本人：9通、家族：3通、不明：1通。
◉不明の返信にはアンケート用紙が入っていないため、有効返信数は12通として、以下算出。
■は自衛官本人、●は家族

1）あなたの自衛隊入隊動機はなんですか
（自衛官本人のみの設問、母数は9、複数回答）

1・国土防衛	■■	2	22.2%
2・国民を守る	■■■■■	5	55.6%
3・やりがいを求めて	■■	2	22.2%
4・国際協力		0	0%
5・災害救援		0	0%
6・その他	■■	2	22.2%

●コメント
（自衛官本人のみの回答、複数回答あり）
・「国民を守る」が最も多く、5人で、過半数を超えていた。（前回、2020年アンケートでも、「国民を守る」は、「やりがいを求めて」とともに、上位だった。
・「災害救援」がゼロだったのは、返信の多くが海上自衛官だったからか。

参考　2020.3実施第5次アンケート

問1）あなたの入隊動機はなんですか（複数回答あり）

1・国土防衛	●	1名
2・国民を守る	●●●	3名
3・やりがいを求めて	●●●	3名
4・国際協力		0名
5・災害救援	●●	2名
6・その他（護衛艦の艦長になる）	●	1名

2）昨年12月「安保3文書」の改定が閣議決定され、反撃能力の保有等、自衛隊の任務が拡大されました。改定協議の過程で、自衛官の気持ちや現場の事情が考慮されたと思いますか。

		（全体集計）		（自衛官のみの集計）	
1・思う	■■●●	4	33.3%	2	22.2%
2・どちらかと言えば思う	■■	2	16.7%	2	22.2%
3・どちらかといえば思わない	●	1	8.3%	0	0%
4・思わない	■■■■	4	33.3%	4	44.4%
5・どちらともいえない	■	1	8.3%	1	11.1%

●コメント
・「思う」「どちらかといえば思う」が6人で、「思わない」「どちらかといえば思わない」が5人だった。
・自衛官本人では、「思う（どちらかと言えば0も含む）」と「思わない」は同数だった。

3）「安保3文書」によって、業務に変化があると思いますか。（記述）

活動しやすくなる	■
業務が増加する	■■■■
変化はないと思う	■■
分からない・その他	●●●

●コメント

・「安保3文書」後の業務についての記述を、上記のように4分類し、集計した。

・自衛官本人の回答では、業務が増加するとの意見が4人で、最も多かった。

4）多くの報道は、「3文書」によって自衛隊の「専守防衛」が形骸化すると伝えています。あなたはどう思いますか。

		（全体集計）		（自衛官のみの集計）	
1・思う		0	0%	0	0%
2・どちらかと言えば思う		0	0%	0	0%
3・どちらかといえば思わない	■	1	8.3%	1	11.4%
4・思わない	■■■●●	5	41.7%	3	30.3%
5・どちらともいえない	■■■■■■	6	50.0%	6	66.7%

●コメント

・全体では、「どちらともともいえない」が6人。「思わない」「どちらかといえば思わない」も6人で、同数だった。

・自衛官本人では「どちらともいえない」が6人が最も多く、全体の66.7%だった。

・自衛官本人では、「思わない」「どちらかといえば思わない」は4人で、全体の41.7%だった。

・政府は「安保3文書」でも「専守防衛」は堅持すると説明しているが、66.7%の「どちらともいえない」からは、形骸化の懸念もうかがえるのでは。

・専守防衛の限界を指摘する意見もあったが、「思わない」「どちらかといえば思わない」41.7%からは、「専守防衛」であるべきだのメッセージが読みとれないだろうか。

・前回2020年に実施したアンケートでは、自衛隊の任務として、「専守防衛」を選ぶ自衛官・家族が最多だったことからも、そのような読み取りが可能ではないか。

参考
2020.3実施 第5次 アンケート

問4）あなたが考える、自衛隊任務のあるべき姿はなんですか　●自衛官、●家族

1・専守防衛に徹する自衛隊	●●●●●●	4+2=6名
2・日米同盟強化の自衛隊		0名
3・国防軍化をめざす自衛隊		0名
4・災害救助活動を中心とした自衛隊	●●●	1+2=3名
5・その他（他国と同様の軍隊）	●	1名

5）自衛隊が「反撃能力」（敵基地攻撃能力）をもつことについて、どう思いますか。

		（全体集計）		（自衛官のみの集計）	
1・不安がある		0	0%	0	0%
2・どちらかと言えば不安がある	■	1	8.3%	1	11.1%
3・どちらかといえば不安はない	■■	2	16.7%	2	22.2%
4・不安はない	■■■●●●	6	50.0%	3	22.3%
5・どちらともいえない	■■■	3	25.0%	3	33.3%

●コメント

・「不安はない」「どちらかといえば不安はない」があわせて8人で、半数を超えた。

・自衛官本人では、「どちらともいえない」が3人。「不安がある」の回答が1通あった。

・「不安がある」の1通は、一部に業務が集中する自衛隊で、「反撃能力」を十分に運用できるかという、運用面からの不安。

6）アンケートへの意見（記述）

自衛官本人

◆我々の人権を考えていただけることはありがたいが、我々の活動・業務に水をさす行為は避けていただきたい。

◆能力を持つことに対しては文句はありません。しかし無駄に1佐や将のポストが増えている。真に大変なのは、現場で武器等を扱う「曹士」であるのに、この人材がまったく足りていない。営内の数を増やしたり部屋の冷房を整備したりする事が先決かと。無駄な幹部のポストばかり増やさず、人材の確保に力を入れてほしい。

家族

◆都合の良いアンケート結果へ捏造されないことを願ってやみません。

●コメント

・3人の方からアンケートへの意見をいただいた。

・アンケートや実施団体への不信感も表明されているが、ていねいな書き方が印象的だった。